

出前講座 「一関市と洪水」

- 開催日時：平成25年6月12日（水）13時55分から14時40分
- 開催場所：一関市立山目小学校 視聴覚室
- 参加者：4年生101名、先生4名

昨年に引き続き、総合的な学習の一環として、平成25年6月12日（水）一関市立山目小学校視聴覚室にて出前講座が開催されました。

講師の調査第一課福田課長より北上川についての紹介や昭和22・23年に一関地域を襲った「カスリン・アイオン台風」での一関地域が受けた被害の様子や過去に起こった大洪水の状況、また、水害常襲地帯である一関地域の洪水対策として、一関遊水地事業の果たす目的や役割、洪水時の心構えなどについて説明を受けました。

講座を通じて、一関遊水地やカスリン・アイオン台風を聞いたことや知っている児童もたくさんおり、中には北上川の長さが全国5番目であることを知っていた児童もありました。また、たくさんの児童が質問や分かったことについて積極的に手を挙げて発言していました。

今日の出前講座では、自分たちの住んでいる一関地域が、過去に何度も大洪水に見舞われていたことや一関遊水地事業を始めとした洪水対策により、一関地域がどのように守られているのか児童の皆さんはとても勉強できたようでした。



福田調査第一課長による講義の開始



熱心に聞く児童の皆さん



北上川って分かるかな？



今日は、洪水の恐ろしさについてよく分かりました。